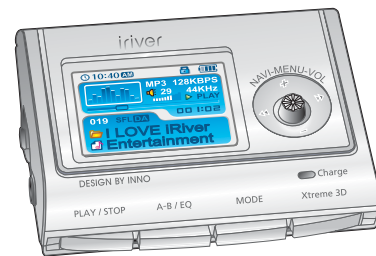
iriver

iFP-900 Series

http://www.iriver.co.jp

取扱説明書

MP3 PLAYER /FM TUNER

Model iFP-900 Series

Firmware Upgradable

お買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みください。

http://www.iriver.co.jp

ようこそ

アイリバーが広げるマルチメディアの世界へようこそ

アイリバーのiFP-900シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。この製品を通してより楽しく充実した生活をお送りいただけますよう望んでおります。
この取扱説明書を必ずお読みになり、新しいプレーヤーの機能を最大限にご活用ください。

http://www.iriver.co.jp

- URL : www.iriver.co.jp
- 弊社や各製品について、またはお客さま・技術サポートについて最新情報がご覧いただけます。
- ファームウェアのダウンロードによりプレーヤーを更新します。ファームウェア更新により機能の修正や新しい機能の追加が可能になります。
- サポートコーナーではお客さまからよく寄せられるご質問(FAQ)に対する解答が掲載されています。
- 効率よいサポートをさせていただくために、iRiver製品のオンライン登録をお勧めします。
- このs説明書に記載された内容は、本製品の機能向上や仕様変更により予告なしに変更されることがあります。

認可

- CE、FCC、MIC

著作権/認可/商標/免責条項

著作権

- iriver社は、本書に関連するすべての特許権、商標権、文書権、および知的所有権を所有しています。iriver社の承諾を得ていない場合は、本書のいかなる部分も複製することができません。違法な方法で本書を利用した場合は、罰せられる場合があります。
- 知的所有物を含むソフトウェア、オーディオ、およびビデオは、著作権法および国際法によって保護されています。ユーザーが本製品によって作成されたコンテンツを複製または配布する場合、その責任はユーザー自身が負うことになります。
- 本書中の例で使用する会社、協会、製品、人物、およびイベントは現実のデータではありません。当社は、本書を通じて何らかの会社、協会、製品、人物、イベントに関連付けたり、憶測をはかったりすることを意図するものではありません。お客様には、これらの著作権および知的所有権を遵守していただく必要があります。

商標

- Windows、Windows 98 SE、Windows ME、Windows 2000、Windows XPおよびWindows Media PlayerはMicrosoft社の登録商標です。

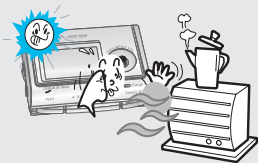
免責条項

- お客様が本製品を誤用したため、あるいは不適切な操作をしたために人身事故や他の損害、偶発的な被害を受けた場合、製造者、輸入業者、およびディーラは、このような損害に対して責任を負いかねます。
- 本書の情報は現行の製品使用に合わせて作成したものです。製造者であるiriver社は、本製品に新機能を追加しており、今後も引き続き新技術を適用して参ります。あらかじめお知らせすることなく、すべての標準を変更することがありますので、ご了承ください。

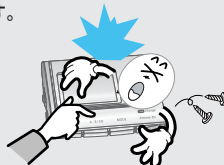
目次

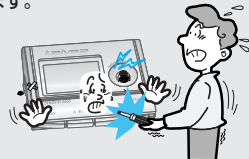
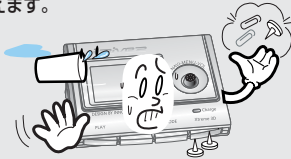
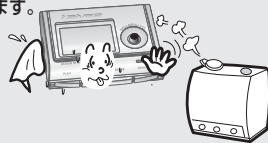
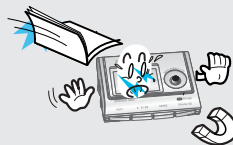
この説明書では、ハードウェア(プレーヤーの設定と使用方法)について説明しています。音楽をプレーヤーに転送する方法など、ソフトウェアの機能の詳細については、ソフトウェア取扱説明書を参照してください。

Memo

目次

安全にお取り扱いいただくための注意

直射日光でのご使用はおやめください。
- 適切でないご使用はプレーヤーに損傷を与えます。

製品の中にものを入れないでください。
- 適切でないご使用はプレーヤーに損傷を与えます。

改造や分解をしないでください。
- 適切でないご使用はプレーヤーに損傷を与えます。

暑すぎたり寒すぎたりする場所でのご使用はおやめください。
- 適切でないご使用はプレーヤーに損傷を与えます。

ボタンを強く押しすぎたり、製品の分解を試みないでください。
- 適切でないご使用はプレーヤーに損傷を与えます。

プレーヤーをきれいにするために水や化学薬品を使用しないでください。表面をきれいにするためには柔らかい布をご使用ください。
- 適切でないご使用はプレーヤーに損傷を与えます。

安全にお取り扱いいただくための注意

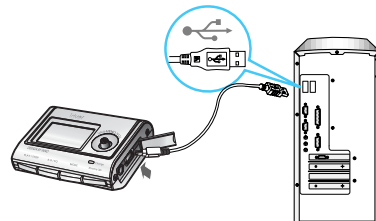
プレーヤーに強力な磁石を近づけたり、手荒に扱ったり、ものを落としたりしないでください。
- 適切でないご使用はプレーヤーに損傷を与えます。

湿気のある場所やほこりっぽい場所、または煙のある場所には保管しないでください。
- 適切でないご使用はプレーヤーに損傷を与えます。

プレーヤーに水や薬品をかけないでください。
- 内部の部品が損傷する場合があります。濡れた場合は、ただちに柔らかい布で表面を拭いてください。

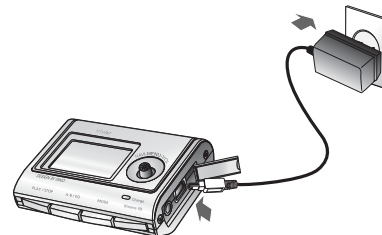
首にプレーヤーをかけたまま走らないでください。
- 適切でないご使用はプレーヤーに損傷を与えます。

ポケットやバックパックに入れている時は、他の物がプレーヤーを圧迫しないように注意してください。
- 適切でないご使用はプレーヤーに損傷を与えます。

ヘッドフォンやイヤフォンのコードはいつでもご自分で管理ください。
- コードが様々なものに挟まれたりすると怪我や破損の原因となります。

iFP-900の特長

- **マルチコーデックプレーヤー**：MP3、WMA、OGG、ASFフォーマットをサポート
- **ファームウェアアップグレード**
  弊社ホームページにて最新ファームウェアを提供､プレーヤーの機能の追加・変更で性能を向上させ､いつでも最新の状態で音楽を楽しめます。
- **多言語(40言語)対応の26万色カラーグラフィックLTPS LCD**
  iFP-900シリーズは､多言語対応の260,000色グラフィックLTPS(Low Temperature Poly Silicon: 低温ポリシリコン)LCDを備えています。
- **FMラジオ機能**
  オートメモリ機能や周波数のメモリ機能により選局が簡単です。移動中に電波を追跡するシステムを搭載し、さらにパワーアップしたFMラジオが楽しめます。
- **6つのEQ設定**：Normal、Rock、Jazz、Classic、U Bass、Metal
- **XtremeEQとXtreme 3D**
  Post DSP採用でより力強くなったイコライザのカスタマイズ。5つにわけた帯域での微調整により、使用者の趣向に合わせて豊かな低音をはじめとした多様な音響効果を実現。また、Xtreme 3D機能の採用により、コンサート会場にいるような臨場感溢れる立体音響が楽しめます。
- **GUI（グラフィック・ユーザー・インターフェース）メニューを採用**
- **使いやすいナビゲーション**
  ファイルやフォルダをツリー構造で表したナビゲーション画面で、簡単な操作で曲を探すことができます。
- **最大8階層のフォルダレベルをサポートし、トータルのフォルダ数500、ファイル数1500を同時サポート**
- **オリジナルの再生リストの作成**
- **ダイレクト エンコーディング**
  サンプリング周波数11.025KHz44.1KHz、ビットレート8Kbps~320Kbps
- **FMラジオの録音、音声の録音、他の機器からのライン入力の録音**
  音声録音レベルはAGC機能で自動制御
- **使いやすいネックストラップ付属**
- **充電用バッテリ採用、USBからの充電も可能**
  内蔵の充電用バッテリは、ACアダプタからはもちろん、USB接続でPCからの充電が可能。
- **USB 2.0で高速ファイル転送**
  USB2.0 に対応。大容量のファイルの高速転送が可能。

電源について

USBケーブルを使用して充電する

USBケーブルを使用してプレーヤーをPCに接続します。
PCとプレーヤーを接続すると、自動で充電が始まります。

> **Note**
> - プレーヤーは電源がオフの時でも充電を開始します。
> - 充電が完了すると充電インジケータは消灯します。

ACアダプタを使用して充電する

同梱のACアダプタをプレーヤーのUSBポートと、コンセントに差し込んでください。
(このプレーヤーのACアダプタは100V, 50/60Hzに対応しています。)

> **Note**
> - 充電所要時間
>   約4時間(完全に放電された状態から。充電のみ行った場合)

電源について

充電池の管理

注意

- **充電池は室温で充電および保存してください。**
  暑い場所や寒い場所では、正常に充電されない可能性があります。
- **充電池を分解しないでください。**
  充電池を直火にさらすことは避けてください。
  充電池が破裂して、思わぬけがをすることがあります。
- **ショートの可能性があるため、充電池のコネクタと金属を接触させることは避けてください。**
- **保管後、ご使用前にバッテリを一杯に充電してください。**
- **プレーヤーや電池を子供や動物に近づけないでください。**
  プレーヤーやバッテリを噛んだりしますと、中味が露出したり、感電の恐れがあります。

各部の名称

目次

前面

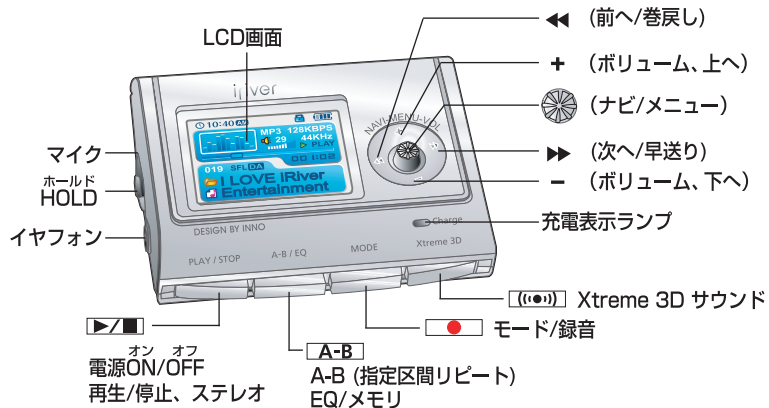
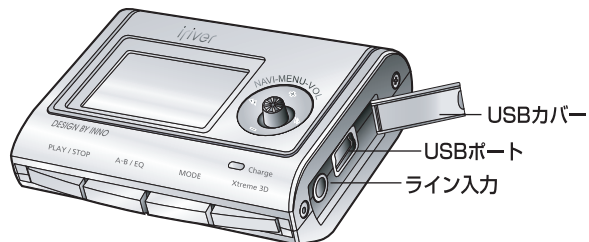
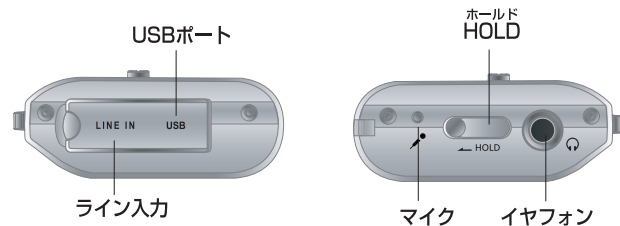
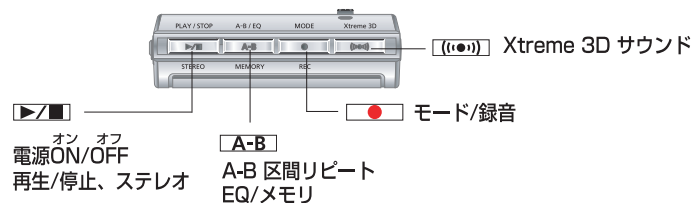
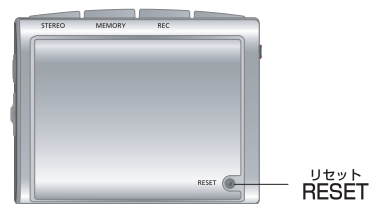
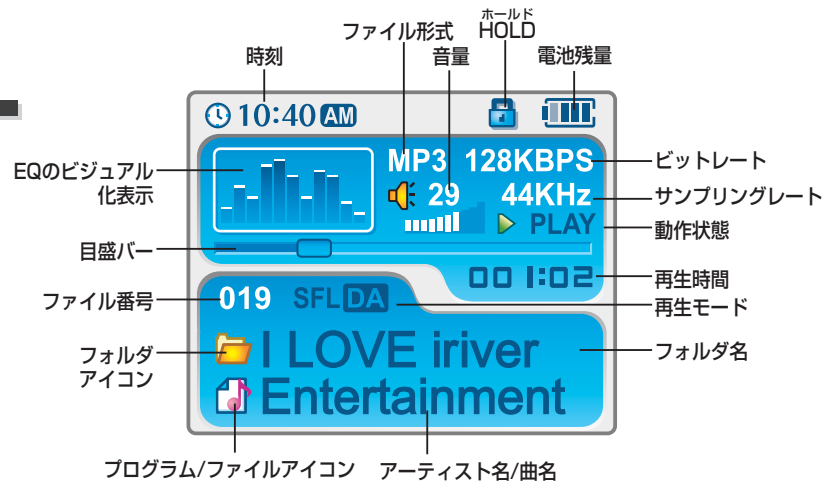
USBカバー
USBポート
ライン入力

LCD画面
(前へ/巻戻し)
+ (ボリューム、上へ)
(ナビ/メニュー)
(次へ/早送り)
– (ボリューム、下へ)
充電表示ランプ
マイク
ホールド
HOLD
イヤフォン
Xtreme 3D サウンド
モード/録音
オン オフ
電源ON/OFF
再生/停止、ステレオ
A-B
A-B (指定区間リピート)
EQ/メモリ

後面/側面

リセット
RESET

Xtreme 3D サウンド
モード/録音
オン オフ
電源ON/OFF
再生/停止、ステレオ
A-B
A-B 区間リピート
EQ/メモリ

USBポート
ホールド
HOLD
ライン入力
マイク
イヤフォン

LCD画面

Note
- ファイル形式は次のように表示されます。

  ASF : ASF　　OGG : OGG
  IRM : IRM　　WMA : WMA
  MP3 : MP3

- IRM (iriver Rights Management) : iriver Rights Managementはデジタルミュージックフォーマットの一つです。

目次

ここでは、Windowsオペレーティングシステムを使用する場合のインストール方法について説明します。
Mac OSを使用する場合のインストール方法については、ソフトウェア取扱説明書を参照してください。

注意 **初めてプレーヤーをPCに接続する前に、iriver Music Managerをインストールしてください。**

ソフトウェアのインストール

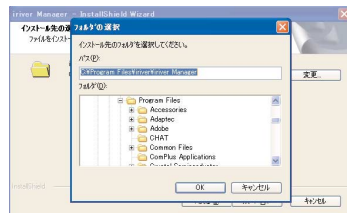
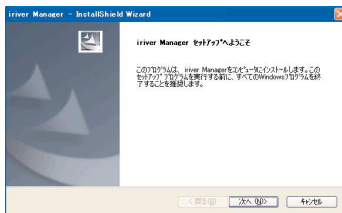
- **PCのCD-ROMドライブにインストールCDを入れます。**
  CDを入れると以下の画面が現れます。

- インストールが自動的に開始しない場合は、インストールCD内の[setup.exe]ファイルを実行してください。
  インストールプログラムが開始します。
- インストールCDの内容は以下のとおりです。
  - デバイスドライバ
  - iriver Music Manager
  - Mac OS用 Manager Program

- MP3ファイルをはじめ、様々な形式のファイルをプレーヤーに転送することができます。逆に、プレーヤーからPCにファイル（MP３、WMA、OGG、ASFを除く）を転送することもできます。
- www.iriver.co.jpから最新のドライバとiriver Music Managerのアップデータをダウンロードできます。
- Windows 2000またはWindows XPを使用している場合は管理者権限でログインしてインストールしてください。

Note ***動作環境***

- Pentium 133MHz以上
- USBポート
- Window 98SE / ME / 2000 / XP
- CD-ROMドライブ
- ハードディスクの空きスペース10MB以上

セットアップ

PCソフトウェアのインストール

ソフトウェアのインストール

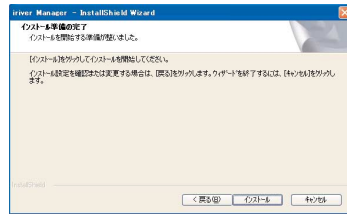
インストール画面が実機で表示されるものと異なっている場合は、ソフトウェアがより新しいバージョンである可能性があります。実物とここに示したインストール画面が異なっている箇所がある場合は、www.iriver.co.jpで最新の取扱説明書を参照してください。

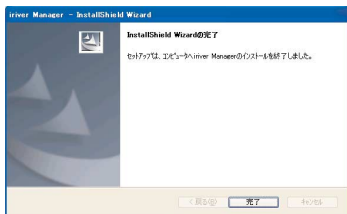
1. PCのCD-ROMドライブにインストールCDを入れると、インストール開始が画面が自動的に現れます。

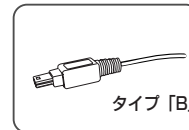
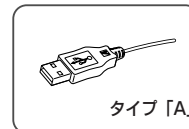
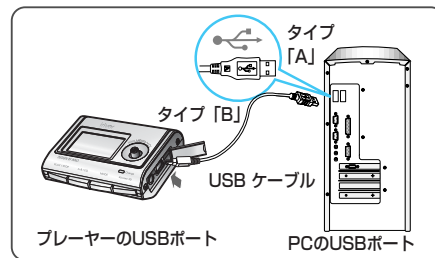
2. 言語を選択し、［次へ］をクリックします。

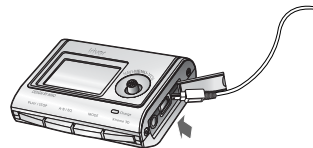
3. iriver Music Managerのインストールを開始します。［次へ］をクリックします。

4. ［次へ］をクリックします。（インストール場所を変更する場合は［変更］をクリックし、指定します。）

セットアップ

PCソフトウェアのインストール

ソフトウェアのインストール

5 [次へ]をクリックします。

6 [インストール]をクリックしてインストールを開始します。

7 インストールが進行します。
インストールが完了したら[完了]をクリックします。

プレーヤーをPCに接続する

PCに接続する

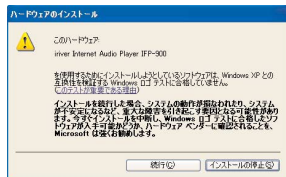
1 付属のUSBケーブルをPCのUSBポートに 差し込みます。

2 プレーヤーのUSBポートのUSBカバーを開け、USBケーブルを接続します。

3 プレーヤーのLCD画面に[USB で接続中]と表示されます。

Note ● エラーを避けるため再生を終了してからUSBケーブルを接続してください。

[新しいハードウェア]をインストールする

1 前項の「PCソフトウェアのインストール」を完了し、PCとプレーヤーを接続すると、[新しいハードウェアが見つかりました]という画面が表示されます。

2 [ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)]を選択し、[次へ] をクリックします。

3 自動的にプレーヤーの検索が開始されます。

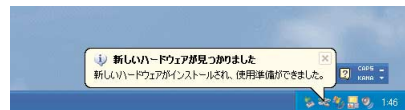
4 [ハードウェアのインストール]警告メッセージが表示されたら、[続行] をクリックします。(Windows XPの場合)
iriverソフトウェアがコンピュータに悪影響を及ぼすことはありません。

プレーヤーをPCに接続する

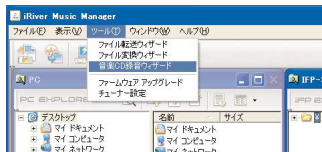
[新しいハードウェア]をインストールする

5 インストールが続行します。

6 [完了] をクリックします。
[新しいハードウェア]のインストールが完了しました。

7 新しいハードウェアが正常にインストールされ、使用可能な状態になったことを知らせる画面が表示されます。(Windows XPの場合)

OGGファイルへ変換する

プレーヤーに転送する音楽ファイルをPCで作成します。OGG形式に変換するには「iriver Music Manager」を使用します。(詳しい使い方は「ソフトウェア取扱説明書」を参照してください。)

1 PCのCD-ROMドライブに音楽CDを入れます。

「iriver music manager」を起動します。(スタート→全てのプログラム→iRiver→Music Manager→iriver Music Manager)

2 「ツール」メニューから「音楽CD録音ウィザード」を選択します。

3 画面に従って、「次へ」をクリックしながら進みます。

・CDが入っているドライブを選ぶ
・音楽CDの情報を入れる
・変換する曲を選別する
・出力フォルダを作成する/音質選択をする

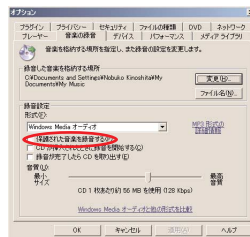
4 「音質選択」では[ABR, Q4:128Kbps]に設定します。(それ以外のビットレートで作成したファイルは再生できないことがあります。)

5 ファイルの変換が進行します。

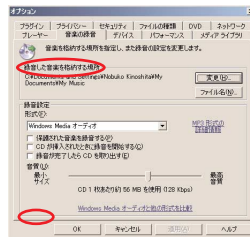
● OGGファイルをプレーヤーに転送するには、3-10ページに進んでください。

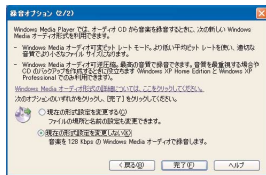
WMAファイルへ変換する

WMA形式にはWindows OSに標準インストールされている「Windows Media Player」で変換します。(ここでは、Windows Media Player Ver.9を使用しています。)

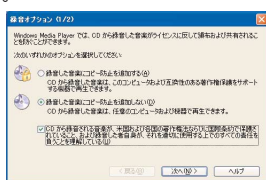
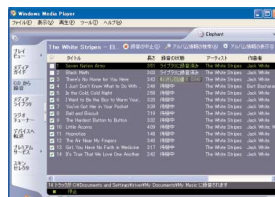
1 PCのCD-ROMドライブに音楽CDを入れます。

「Windows Media Player」を起動します。(スタート→全てのプログラム→Windows Media Player)

2 「ツール」メニューから「オプション」を選択し、「音楽の録音」タブの「保護された音楽を録音する」のチェックを外します。

3 「音楽の録音」タブの設定画面では、「録音した音楽を格納する場所」や、音質(ビットレート)の設定することができます。

重要 ● 音質は128Kbps以下で設定してください。

4 「CDから録音」をクリックします。インターネットから曲名、アーティスト名などのアルバム情報が自動で取込まれます。

WMAファイルへ変換する

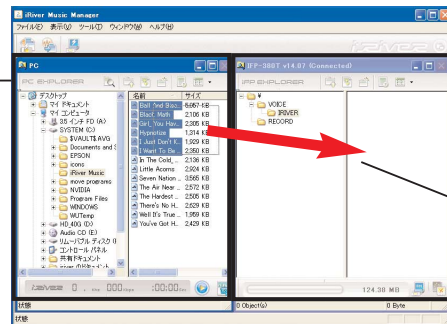
5 「音楽の録音」をクリックします。

●初めて録音をする時には以下のような画面が表示されます。下図のようにチェックを入れてください。

6 録音が進行します。

重要

● Windows Media Player Ver.7の場合は、「ツール」メニューのオプションを選択し、「CDオーディオ」タブの「個人用の著作権管理を有効にする」のチェックを外してください。

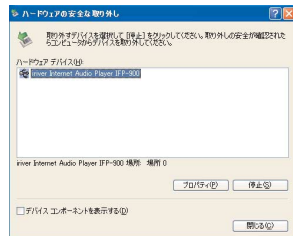
● Windows Media Player Ver.8の場合は、「ツール」メニューのオプションを選択し、「音楽のコピー」タブの「コンテンツを保護する」のチェックを外してください。

プレーヤーに音楽ファイルを転送する

PCにある音楽ファイルをプレーヤーに転送します。iriver Music Managerを使用します。

1 付属のUSBケーブルでPCとプレーヤーを接続し、iriver Music Managerを起動します。(スタート→全てのプログラム→iRiver→Music Manager→iriver Music Manager)

2 PCの音楽ファイル（OGG、WMA、MP3）が格納されているフォルダを開きます。

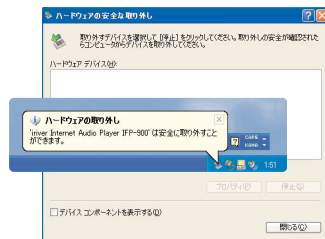
3 プレーヤーに転送するフォルダ、またはファイルを選び、右のプレーヤー側にドラッグ＆ドロップします。

4 ファイルの転送が進行し、プレーヤが側にファイルやフォルダが追加されます。

プレーヤーをPCから安全に切断する

1 マウスの右ボタンで[ハードウェアの安全な取り外し]をクリックし、[ハードウェアの安全な取り外し]を選択します。

2 切断するデバイスを選択して[停止]をクリックします。

3 停止するデバイスを確認し、[OK]をクリックします。

4 [ハードウェアの取り外し]メッセージを確認したら[閉じる]をクリックします。(Windows XPの場合)

Note
- エラーを避けるために、取り外しのメッセージの後に、PCからプレーヤーを取り外してください。

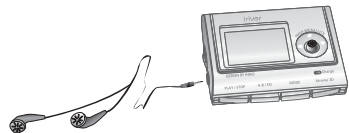
セットアップ

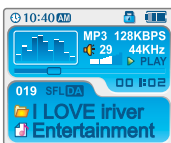
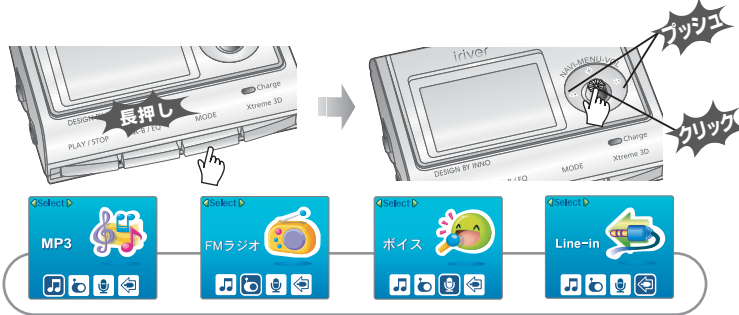
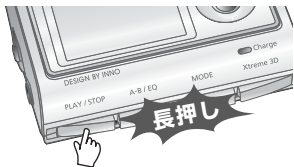
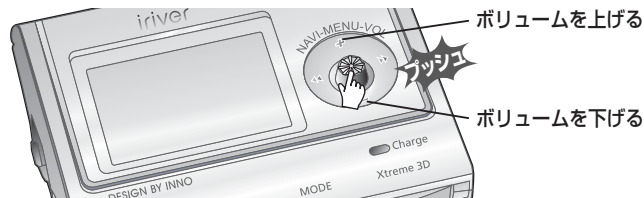
目次

基本機能

プレーヤーの電源をON（オン）にする

● 図のようにイヤフォンを接続します。

● 「HOLD（ホールド）」スイッチを押して、OFF（オフ）にします。

● [▶/■] ボタンを押してプレーヤーをONにします。LCDに[マイイメージ]が表示されます。
● もう一度 [▶/■] ボタンを押すと再生が開始されます。

プレーヤーの電源をOFF（オフ）にする

[▶/■] を長押ししてプレーヤーの電源をOFFにします。

機能の切り替え

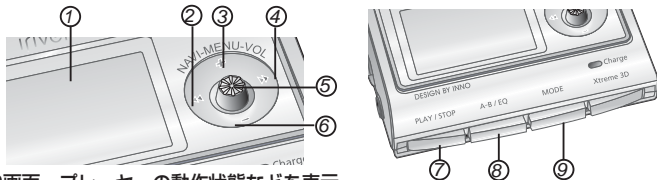
[●] を長押しすると、LCD画面に現在の機能が表示されます。
[ジョイスティック] を ◀◀ 方向または ▶▶ 方向に押し、必要な機能が選択されたら [ジョイスティック] を押します。

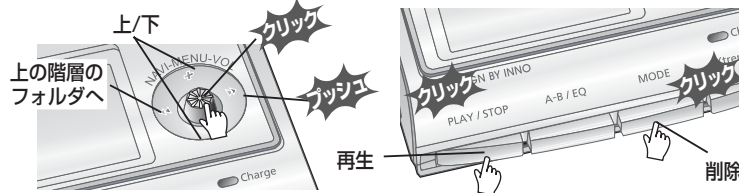
ボリュームを調節する

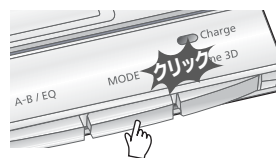
ボリュームを上げるには、[ジョイスティック] を ＋ 方向に押します。
ボリュームを下げるには、[ジョイスティック] を － 方向に押します。

基本機能

音楽を聞く

「MP3」機能にします。(機能の変更は4-2ページを参照してください。)

1. LCD画面…プレーヤーの動作状態などを表示
2. ◀◀ …前のファイル、フォルダ、FM放送局、または値にスキップ
3. ＋ …ボリュームを上げる
4. ▶▶ …次のファイル、フォルダ、FM放送局、または値にスキップ
5. ❀ …ナビ/メニュー機能の選択
6. － …ボリュームを下げる
7. ▶/■ …電源のオン/オフ、再生の開始/停止、FMモードの選択
8. A-B …EQモードの選択、A-Bリピート、FM局の自動保存
   EQ : NORMAL→ROCK→JAZZ→CLASSIC→U BASS→METAL→Xtrm EQ→Xtrm 3D
9. ● …機能または再生モードの選択、録音の開始/停止

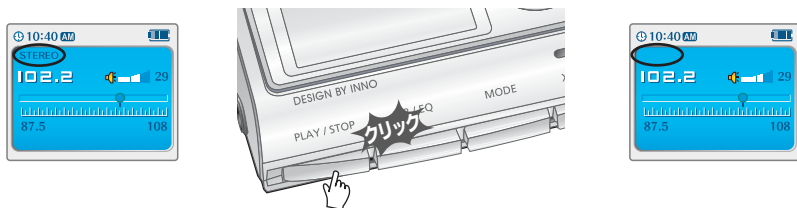
ナビゲーション(ファイル一覧)

メニュー(設定項目)

ナビゲーション画面でファイルを探す

❀ を押してナビゲーション画面(ファイルやフォルダの一覧表示画面)を表示します。
＋ 方向／ － 方向に押すと上下移動し、◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押すと上の階層／下の階層に移動します。(上の階層にフォルダがない場合は、ナビゲーション画面は終了します。)
ファイルを再生するには、❀ または ▶/■ を押すか、▶▶ 方向に押します。

● フォルダやファイルを削除するには
停止状態で削除したいフォルダやファイルを選択し、● を押します。「FILE DELETE ARE YOU SURE?」というメッセージが表示されます。◀◀ 方向／ ▶▶ 方向を押して[YES]にチェックを入れ、❀ を押します。(ファイルの再生中は削除できません。)

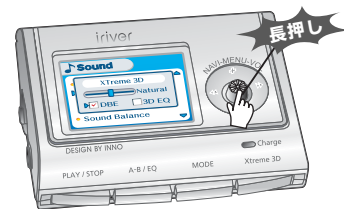
再生モードを変更する

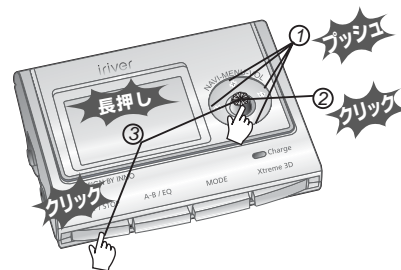
● を押して音楽ファイルの再生モードを変更します。(「MP3」機能の時)

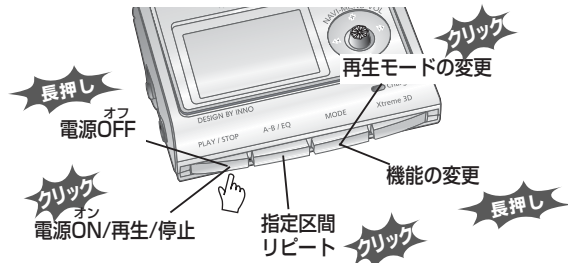
リピート : 1 D D A
シャッフル : SFL SFL1 SFLD SFLDA SFLA
イントロ : I

FMラジオを聞く

「FMラジオ」機能にします。(機能の変更は4-2ページを参照してください。)
を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押して周波数を変更して希望の局を選択します。

FMのステレオ/モノラルを選択する

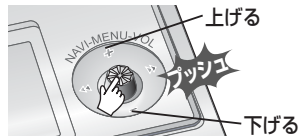
▶/■ を押してステレオ（STEREO)またはモノラルを選択します。

基本機能を見てみる

設定を変更する(メニュー)

プレーヤーの様々な機能の設定項目を変更してユーザー各自の環境や好みに合うようにカスタマイズすることができます。

設定メニューに入るには、 を長押しします。

設定メニューの使い方

1. 項目間の移動： を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押します。

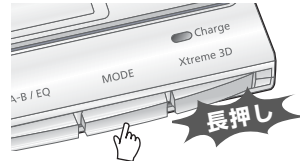
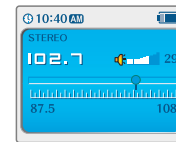
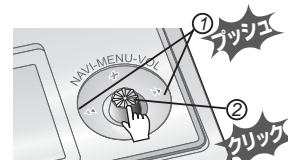
2. 選択する： を押します。

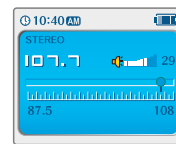
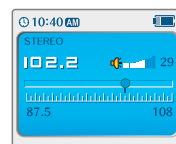
3. 終了する： を長押しする、もしくは ▶/■ を押します。

音楽を聞く

音楽ファイルを再生する

ボリュームを調節する

音楽ファイルを選択する

前後のフォルダのファイルを再生する

早送り/巻戻しする

FMラジオを聞く

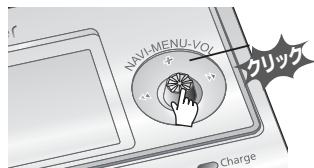
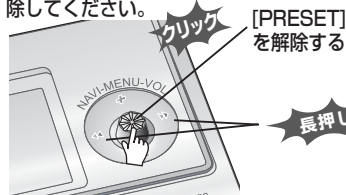
FMラジオを聞く

1 を長押しします。
LCD画面に現在の機能が表示されます。

2 を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押して「FMラジオ」を表示します。
を押して「FMラジオ」機能を確定します。

3 を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押して周波数を変更し、放送を選局します。

オートメモリ機能（放送局の自動設定）

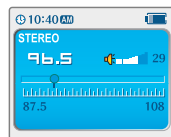
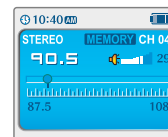
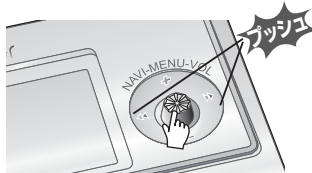
自動で周波数をスキャンして放送を探し、チャンネルに登録する放送局の自動設定機能です。
[PRESET]が解除の時のみ設定が可能です。設定が終了すると[PRESET]モードになります。

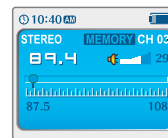
1 画面に[PRESET(プリセット)]と表示されている場合は ❋ を押して、[PRESET]状態を解除してください。

2 A-B を長押しします。放送局が周波数順に自動的に選択されて保存されます。最大20局まで自動的に保存できます。

注意 ●イヤフォンはアンテナの役割をします。イヤフォンを付けて設定してください。また、電波の弱い地域ではオートメモリが機能しないことがあります。

メモリ機能（放送局の手動設定）

1 画面に[PRESET(プリセット)]と表示されている場合は ❋ を押して、[PRESET]モードを解除してください。

2 ❋ を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に長押しして、FM局を選択します。

放送局プリセットを手動プログラミングする

3 A-B を押して、チャンネルに追加します。画面の右上にメモリとチャンネル番号が表示されます。

4 必要に応じて、 ❋ を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押して他のチャンネル番号を選択します。

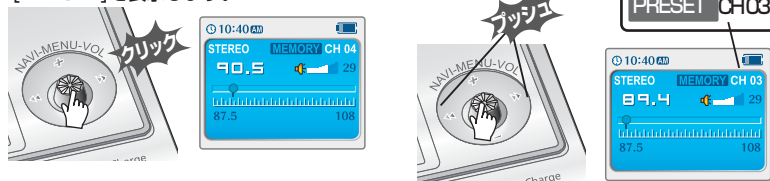
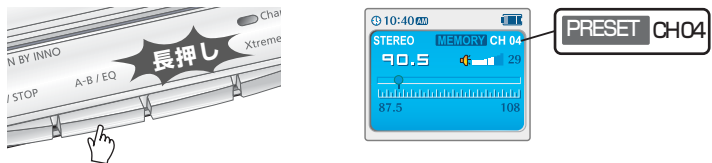
5 A-B を押して、選択したチャンネル番号に放送局を保存します。放送局の保存をキャンセルするには、 ▶/■ を押します。

●最大20局まで保存できます。

基本操作

チャンネルを削除する

1 [PRESET(プリセット)]モードにします。[PRESET]の表示がないときは、 を押して[PRESET]を表示します。

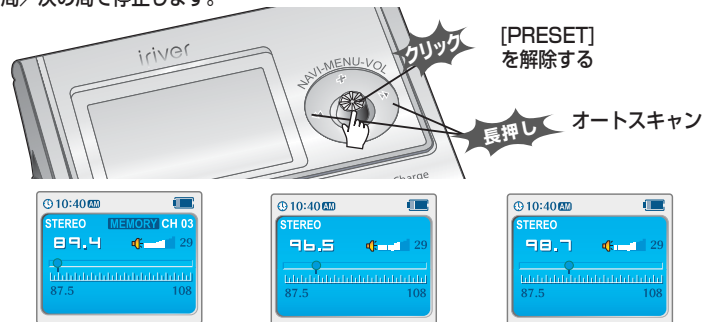
2 を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押して削除するチャンネルを選びます。

3 A-B を長押しして、選択した放送局を削除します。

- 削除が完了すると次の局が表示されます。
- 次の局も削除する場合は A-B を長押しします。

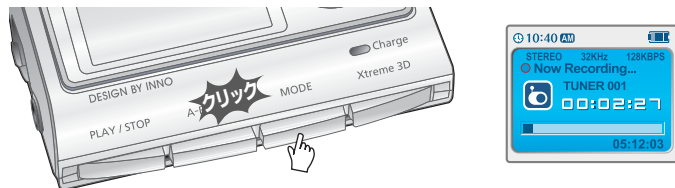
- FMチューナー受信は地域により異なります。
- プリセットモードでは、オートスキャンとオートメモリの機能は使用できません。
- プレーヤーにプリセットされた局がない場合は、短時間、画面に[EMPTY]と表示されます。

ステレオ/モノラルを選択する

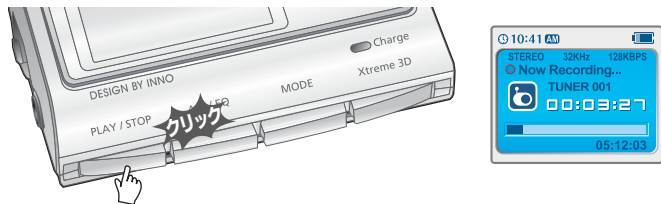
▶/■ を押してステレオ/モノラルを選択します。

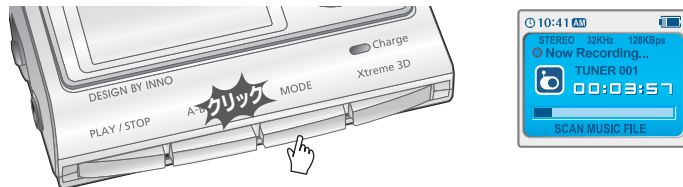
オートスキャン（自動受信）

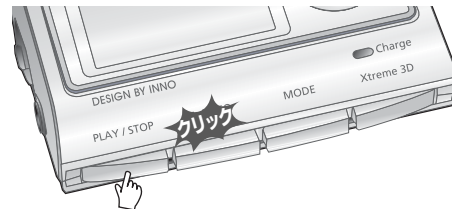
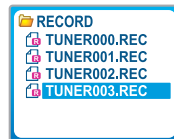
現在の周波数の位置から最も近くにある放送を自動受信します。
画面に[PRESET]と表示されている場合は を押して、[PRESET]モードを解除してください。 を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に長押しします。自動で周波数をスキャンし、受信可能な前の局／次の局で停止します。

FM放送を録音する

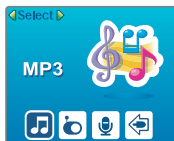
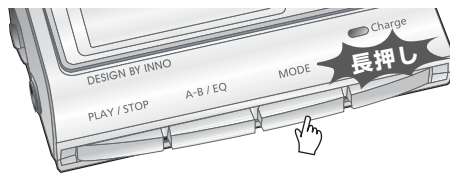
FM受信中に [●] を押します。受信中のFM放送の録音が開始します。
画面には録音経過時間が表示されます。

Note
- 録音ボリュームの調節はできません。
- 録音したRECファイルをMP3ファイルに変換するには、iriver Managerを使用します。(『iriver Music Manager取扱説明書』を参照)

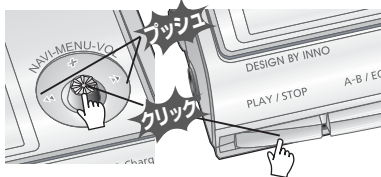
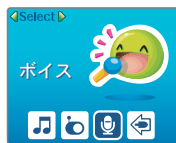
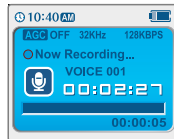
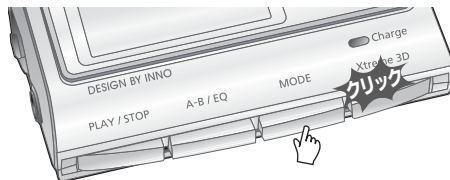
FM録音を一時停止する

- [▶/■] を押すと録音が一時停止します。
- 録音を再開するには、もう一度 [▶/■] を押します。

FM録音を停止する

録音を停止するには、 [●] を押します。
- 録音したファイルは、[TUNER000.REC]というファイル名で[RECORD]フォルダに保存されます。

録音したファイルを再生するには

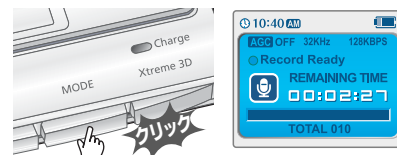
「MP3」機能に変更し、 [ナビ] を押してナビゲーション画面を表示します。
[RECORD] フォルダから[TUNERXXX.REC] ファイルを選択し、 [▶/■] を押します。

音声を録音する

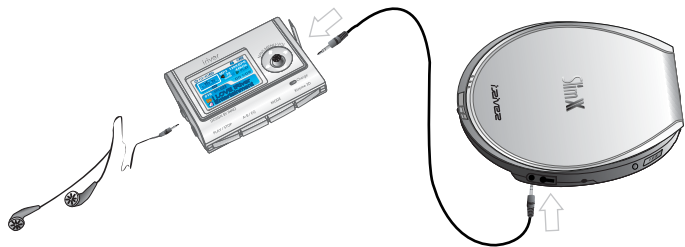
1 [●] を長押しします。LCD画面に現在の機能が表示されます。

2 (ナビ) を◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押して、「ボイス」を表示します。
(ナビ) （または [▶/■] ）を押すと、音声録音(スタンバイ)モードに入ります。

3 [●] を押すと音声録音が開始します。

音声録音を一時停止する

[▶/■] を押すと録音が一時停止します。録音を再開するには、もう一度 [▶/■] を押します。(同じファイルに続けて録音されます。)

音声録音を停止する

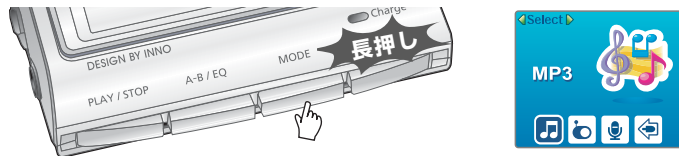
録音を停止するには、 [●] を押します。(停止後、再度録音をする際には新しいファイルが作成されます。)

録音したファイルを再生するには

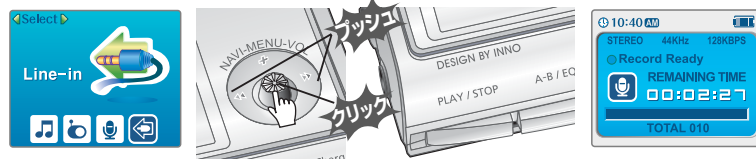
[●] を押して、現在の録音を停止します。
[▶/■] を押すと、直前に録音したファイルの再生が始まります。

Note

- 録音ファイルは[VOICE] フォルダに[VOICEXXX.REC] として保存されます。
- LCDに[00:00:00] の表示が出るときはプレーヤーのメモリが一杯です。 この状態で録音するには、プレーヤーからファイルまたはフォルダを削除して、空きスペースを作ります(『ソフトウェア取扱説明書』を参照)。
- 録音の歪みをさけるためプレーヤーを音源に近づけすぎないでください。
- メモリが一杯の場合や、電池残量が少ない場合は録音できません。
- 録音したRECファイルをMP3ファイルに変換するには、iriver Managerを使用します。(『ソフトウェア取扱説明書』を参照)

外部オーディオ機器からの録音の準備

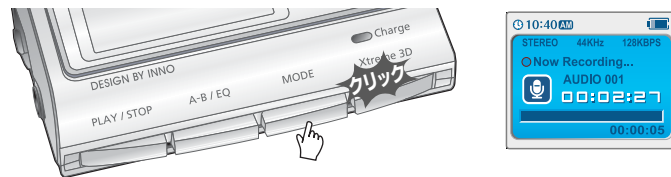
1 外部機器の「ライン出力」端子をプレーヤーの「ライン入力」端子に接続します。

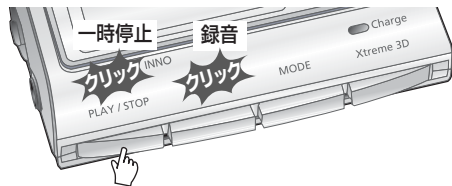
Note ● 外部マイクから録音を行うには、設定メニューの[コントロール]ー[外部マイク設定]で「外部マイク」に設定します。(5-24/5-25ページを参照)。

2 を長押しして設定メニュー画面を表示します。◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押して、[コントロール]を表示し、 を押してサブメニュー画面に進みます。

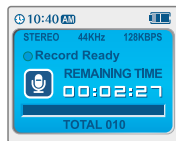
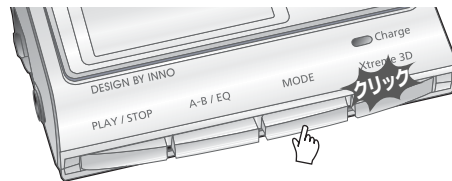
3 [コントロール]のサブメニューにある[ライン入力モード][ライン入力ボリューム][ラインオートシンクロ]および[外部マイク設定]をそれぞれ設定、調節します。
(詳細は5-24、5-25、ページを参照してください。)

外部オーディオ機器からの録音

1 を長押しすると、LCD画面に現在の機能が表示されます。

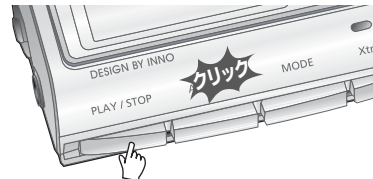
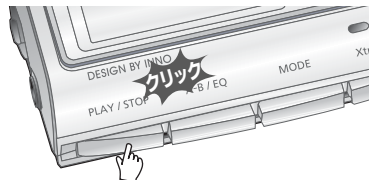
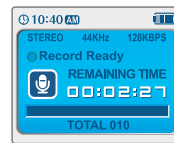
2 を◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押して、「ライン入力」を表示します。
（または ▶/■ ）を押すと、録音スタンバイモードに入ります。

3 外部機器の再生を開始するとともに、プレーヤーの を押して録音を開始します。

外部オ録音の一時停止

[▶/■] を押すと録音が一時停止します。録音を再開するには、もう一度 [▶/■] を押します。

録音の停止

録音を停止するには、[●] を押します。

Note
- 録音ファイルには、[AUDIO000.REC]、[AUDIO001.REC]と連続して名前が付けられて保存されます。[RECORD] フォルダに保存されます。
- 外部マイクを使用して録音したファイルは[EXMIC000.REC]として保存されます。

外部オーディオ機器から録音する

録音したファイルを再生する

1 [▶/■] を押すと、直前に録音したファイルの再生が始まります。

2 その他録音したファイルを再生する場合は、 を押してナビゲーション画面を表示し、＋ 方向／ － 方向に押してファイルを選びます。

3 [▶/■] を押して再生します。

テキストファイルを見る

音楽ファイルを再生しながら、画面にテキストファイル（拡張子：.txt）を表示させることができます。歌詞や音楽情報を見ながら曲を聞く、語学レッスンや講義は音楽ファイルにして教材はテキストファイルに保存してe-bookのように使うなど活用しましょう。

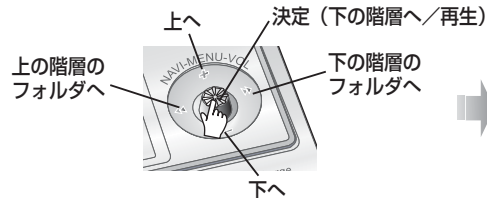
1 を押して、ナビゲーション画面を表示します。

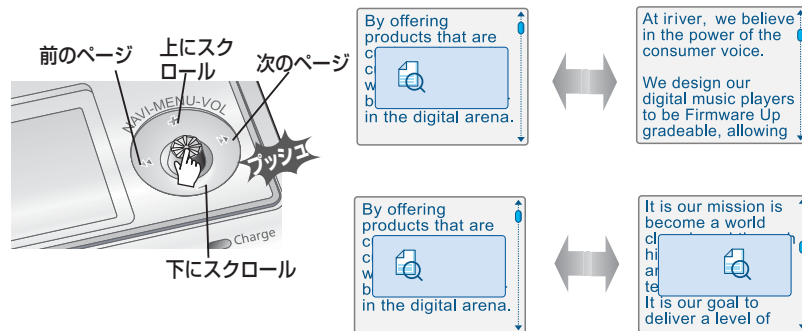
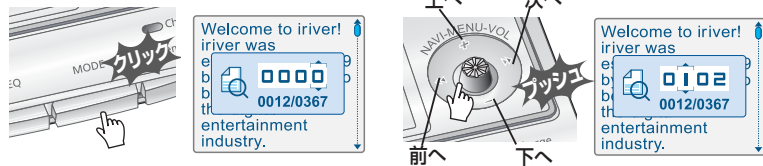
ROOT
My Music
Jazz
About iriver.txt
My iriver1.bmp
Piano Sonata N
Remix-Dance.a

2 を ◀◀ ／ ▶▶ ／ ＋ ／ － 方向に押してテキストファイルを選択します。

ROOT
My Music
Jazz
About iriver.txt
My iriver1.bmp
Piano Sonata N
Remix-Dance.a

3 または ▶/■ を押して、テキストの内容を表示します。

Welcome to iriver!
iriver was
established in 1999
by Reigncom Ltd to
become a force in
the digital
entertainment
industry.

テキストページのスクロールと変更

1. を ＋ 方向／ － 方向に押すと、行を上下にスクロールします。
2. を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押すと、前のページ／次のページに移動します。
3. を長押しすると、サーチ アイコンを表示した状態で高速スクロールを行います。

Note

- 画面には、19(半角)文字×8行表示されます。（全角文字の場合は 8 文字× 8 行）
- テキストファイルの組み合わせはサポートしていません。
- ファイルの組み合わせは、変換後、完成させてください。
- サポート対象とするファイルの総数、テキストファイルのサイズには制限はありません。
- テキスト表示時は、バックライトはつねにオンの状態になっています。

テキストファイルを見る

特定の位置にジャンプする

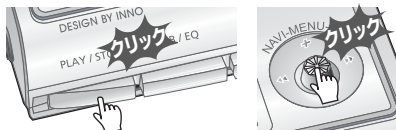
1 [●] を押して、下の図のような設定画面を表示します。

2 ⊛ を ＋ ／ － 方向（数値） ◀◀ ／ ▶▶ 方向（桁）に押してジャンプしたいファイルサイズ位置を設定します。

3 ⊛ または [▶/■] を押します。
設定した位置にジャンプします。

ジャンプを中止し設定画面を消すには [●] を押します。

テキスト ビューアの終了

テキスト表示中に ⊛ または [▶/■] を押して終了します。

マイイメージを画面に設定する

マイイメージの設定

マイイメージで設定した画像は停止状態時の壁紙として画面に表示されます。

1 ⊛ を押して、ナビーション画面を表示します。

2 ⊛ を ＋ ／ － 方向、 ◀◀ ／ ▶▶ 方向に押してBMP形式(24Bit)の画像ファイルを選択します。

3 ⊛ または [▶/■] を押して画像を表示します。

4 [A-B] を押して、プレーヤーの背景画像（マイイメージ）の設定画面を表示します。

5 ⊛ を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押して、[Yes]または[No]を選択します。

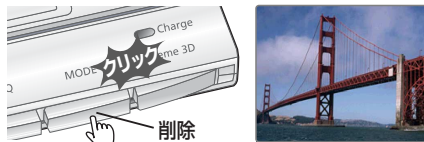
6 ⊛ または [▶/■] を押して実行します。

マイイメージを削除する

マイイメージ情報は、ルートフォルダのMYIMAGE.SYSに保存されます。
マイイメージを削除するには、ナビゲーション画面からMYIMAGE.SYSファイルを削除します。（3-5ページの「フォルダまたはファイルを削除する」を参照。）また、iriver Music Managerから削除することもできます。

Note
- フォーマットを行うとプレーヤーのすべてのファイルが削除されます。フォーマットの前にPCにMYIMAGE.SYSファイルのバックアップをとっておくと、フォーマット後PCからプレーヤーにダウンロードして同じマイイメージ使用することができます。

画像ファイルを削除する

1 削除したい画像ファイルを表示します。
● を押すと削除確認画面が表示されます。

2 を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押して、削除する場合は[Yes]を選択します。
または ▶/■ を押して実行します。

目次

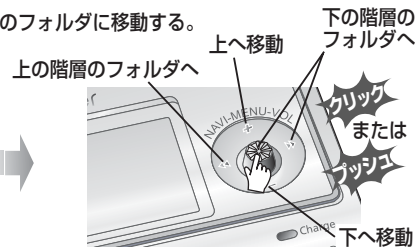
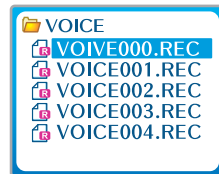
ナビゲーション画面でファイルを探す

ナビゲーション画面は、プレーヤーに保存されているファイルやフォルダがツリー構造で一覧表示されている画面です。ファイルを探したり、削除する時に使用します。

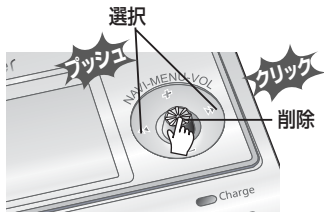
1 ナビゲーション画面を表示する。

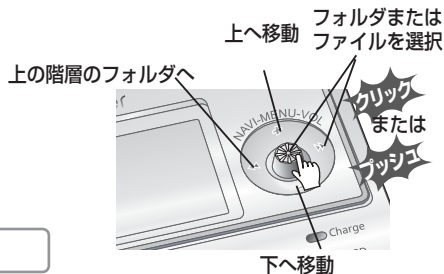
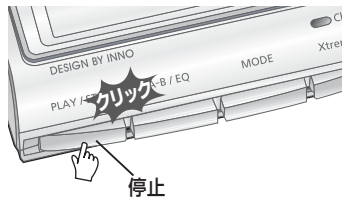
2 フォルダ間を上下移動する

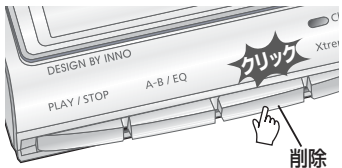
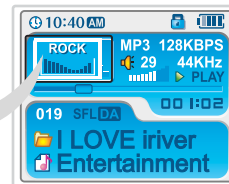
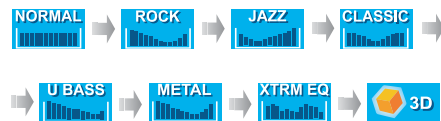
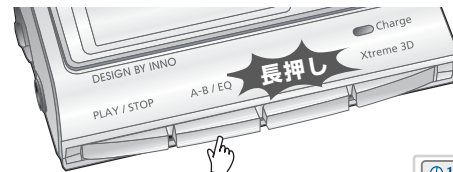
ナビゲーション画面でファイルを探す

3 フォルダを選択する、または下の階層のフォルダに移動する。

4 ファイルを選択する。

Note
- ファイル形式は次のように表示されます。
  - ▷ MP3
  - ▷ IRM
  - ▷ ASF
  - ▷ OGG
  - ▷ REC
  - ▷ WMA
- **IRM (iriver Rights Management)**
  iriver Rights Managementはデジタルミュージックフォーマットの一つです。

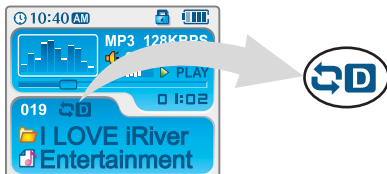
ナビゲーション画面でファイルを探す

フォルダまたはファイルを削除する

1 音楽を再生している場合は再生を停止してください。停止状態で を押します。
を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押して、フォルダまたはファイルを選択します。

注意 ● 削除は停止状態でのみ有効です。

2 を押します。 画面に[Folder delete are you sure?]と表示されます。
を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押して[YES]を選択します。
を押して削除を実行します。

注意 ● 消去できるのは空のフォルダのみです。フォルダの中のファイルをまず削除してから、フォルダを削除してください。

サウンドイコライザ(EQ)を変更する

EQの変更

再生する音楽ジャンルに応じたEQを選択することができます。
A-B を長押しし、現在設定されているEQ名を画面左上に表示します。
次に繰り返し A-B 押してEQを変更します。

Note ● Xtreme EQ設定については5-29ページを参照してください。
● Xtreme 3D設定については5-30ページを参照してください。

再生モードを変更する(MODE)

を繰り返し押して再生モードを変更します。

を繰り替えし押すとモードが切り替わります。モードの種類の設定は「設定メニュー」→「モード」の「リピート/シャッフル」で行います。5-26ページを参照してください。

リピート再生 (Repeat)

1	1つのファイル(曲)をリピート再生します。
D	フォルダの中のすべてのファイル(曲)を再生して停止します。
D	フォルダの中のすべてのファイル(曲)をリピート再生します。
A	プレーヤーの中のすべてのファイル(曲)をリピート再生します。

ランダム再生する(Shuffle)

SFL	プレーヤーの中のすべてのファイル(曲)をランダム再生し停止します。
SFL 1	1つのファイル(曲)をリピート再生します。新しい曲を選択して、それをランダムに繰り返し再生したい場合は を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押します。
SFL D	リピート再生する新しいファイル(曲)を選択します。 フォルダの中のすべてのファイル(曲)をランダム再生して停止します。
SFL DA	フォルダの中のすべてのファイル(曲)をランダムにリピート再生します。
SFL A	プレーヤーの中のすべてのファイル(曲)をランダムにリピート再生します。

便利な機能

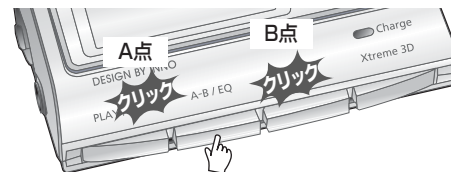
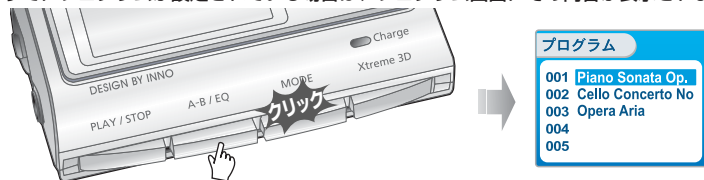
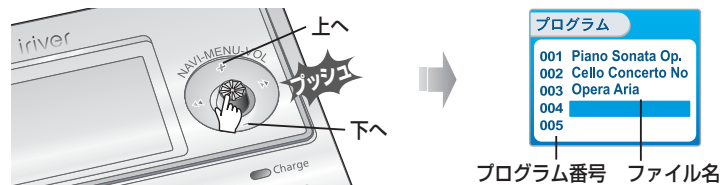
イントロ再生する

I	INTRO: 各ファイル(曲)の最初の10秒を順番に再生します。 INTRO HIGHLIGHT: 各トラックの1分からの10秒を順番に再生します。 設定は「設定メニュー」→「モード」の「リピート/シャッフル」で行います。5-27ページを参照してください。

指定区間をリピート再生する(A-B リピート)

A点とB点を設定し、A-B間をリピート再生します。

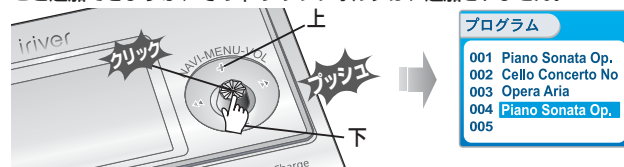
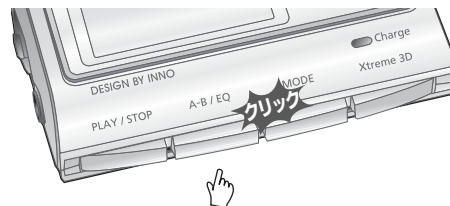
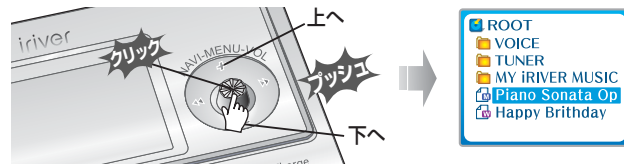
「A-B/EQ/メモリ」ボタンを一度押して開始点：A点を設定します。
もう一度ボタンを押して終了点：B点を設定します。
A-B区間がリピート再生されます。

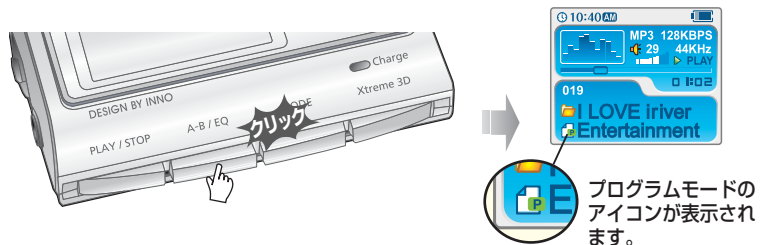
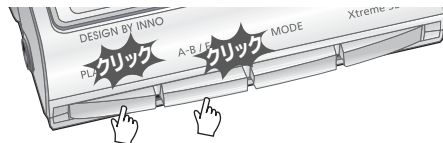
便利な機能

再生リストを作成する

プログラムモード： ここでは、好きな曲を選んで再生リストを作成したり、作った再生リストを再生（プログラム再生）することができます。

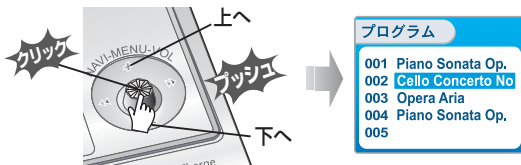
注意 ● プログラムモードは停止状態でのみ有効です。

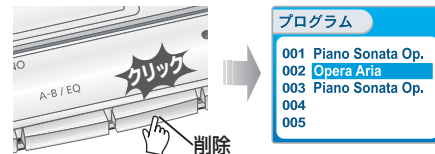
1 音楽を再生している場合は再生を停止してください。停止状態で A-B を押します。プログラム画面が表示されます。
すでにプログラムが設定されている場合は、プログラム画面にその内容が表示されます。

2 ❁ を ＋ 方向／ － 方向に押して再生リストに追加／変更したい場所を選びます。

プログラムモードの起動

3 ❁ を押すと、ナビゲーション画面が表示されます。＋ 方向／ － 方向を押してファイル(曲)もしくはフォルダを選択します。

4 ❁ を押して、再生リストに追加します。
フォルダごと追加できますが、その中の サブフォルダは、追加されません。

5 A-B を押してプログラム画面に戻ります。

2～5の手順を繰り返して、再生リストにファイルを追加します。

プログラム再生する

プログラム画面で ▶/■ を押すと、作成した再生リストの再生が始まります。

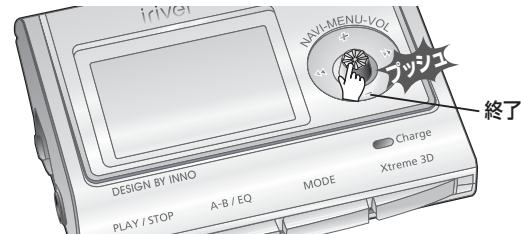
プログラムモードのアイコンが表示されます。

再生リストから削除する

1 ▶/■ を押して、現在のプログラム再生を終了します。 A-B を押して、プログラム画面を表示します。

2 ❁ を ＋ 方向／ － 方向に押し、再生リストから削除したい曲を選択します。

再生リストから削除する

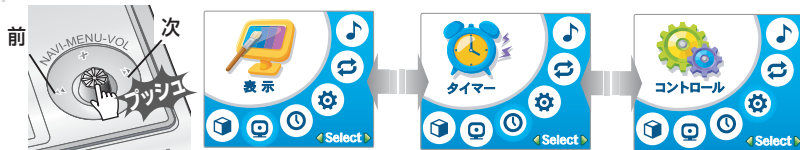
3 ● を押して、選択した曲をリストから削除します。

プログラムモードを解除する

プログラム再生中に ❁ を押すと、プログラムモードが解除されます。

設定メニュー画面を表示する

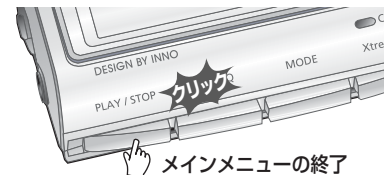
❋ を長押しして、メインメニューを表示します。

メインメニューを選択する

1 ❋ を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向を押して、メインメニューを選択します。

2 ❋ を押して、サブメニューを表示します。

サブメニューに入る

❋ を ◀◀ ／ ▶▶ 方向、または ＋ ／ － 方向に押してサブメニューを選択します。
❋ を押して設定画面を表示します。

● 設定画面からサブメニューや、サブメニューからメインメニューに戻るには、 ▶/■ を押して下さい。

サブメニューの終了

▶/■ を押すとサブメニューを終了しメインメニューに戻ります。

メインメニューの終了

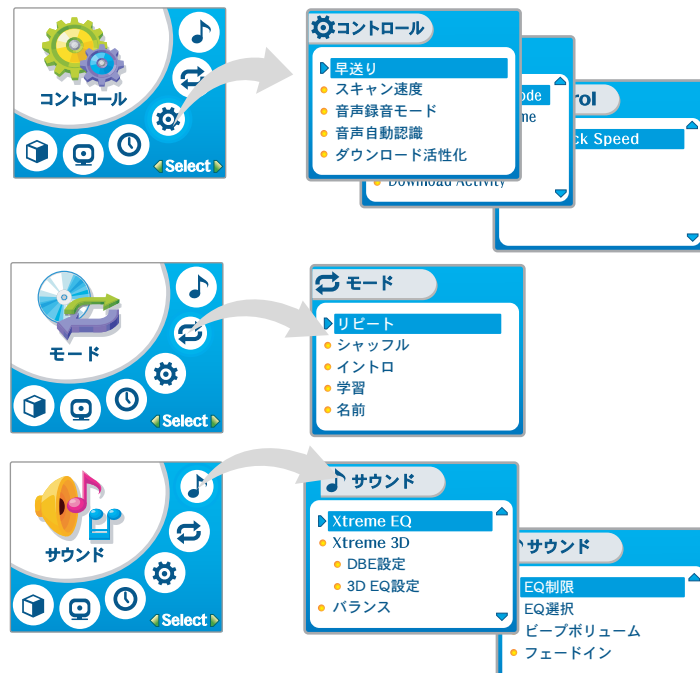
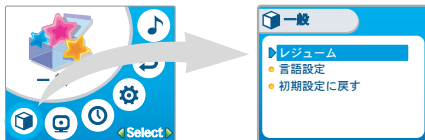
▶/■ を押すとメインメニューを終了します。

メニュー項目の構成

Note
- 各機能はファームウェアのバージョンによって異なる場合があります。
- また、ユーザー独自の設定を構成することができます。

機能設定のカスタマイズ（メニュー）

メニュー項目の構成

便利な機能

メインメニュー：一般

リジューム（現状態の記憶）

曲の再生を停止したり、電源をオフにした時に再生していた曲の再生位置を記憶することができます。

ON： ▶/■ を押すと曲の続きから再生を開始します。

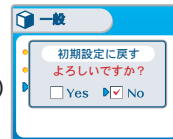
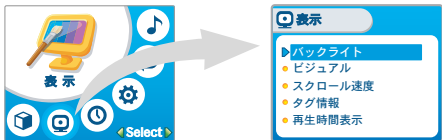
OFF： ▶/■ を押すと常に最初の曲（曲番号：001）から再生を開始します。

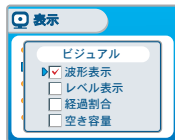
言語設定

40種類の言語に対応
曲名とID3タグ情報は、作成に使用したPCのOSの言語バージョンによって異なります。
(たとえば、日本語バージョンのWindowsで作成したMP3ファイルの曲名を正しく表示するには、言語設定を[Japanese]にします)

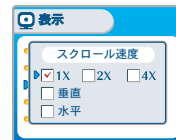
初期設定に戻す

全ての設定項目を工場出荷時の状態に初期化します。

初期化の手順
　◎ を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押して→[YES]を選択します。)

メインメニュー：表示

バックライト（照明の点灯時間）

バックライトが点灯している時間を調節できます。
秒：バックライトの点灯秒数(3～30)
分：バックライトの点灯分数(1～30)
常時: バックライト常時点灯

を押して秒/分/常時を選択します。

ビジュアル（EQの視覚化）

再生中にEQの視覚化表示、曲の経過時間、およびプレーヤーの空きメモリを表示できます。

メニュー － 画面

スクロール速度

上下左右のスクロール速度を、それぞれ1倍速、2倍速、4倍速のいずれかに調整できます。

垂直：上下にスクロールします。
水平：左右にスクロールします。

タグ情報

On：曲のID3タグ情報を表示します。
Off：曲のファイル名を表示します。

Note • ID3情報が付加されていない曲では、デフォルトでファイル名が表示されます。

再生時間表示

経過時間：経過時間を表示します。
残り時間：残り時間を表示します。

Note • 可変ビットレート形式でエンコードされたファイルでは、時間が正確に表示されない場合があります。

メインメニュー：タイマー

スリープ電源Off

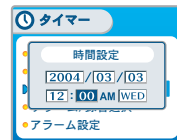
設定時間後に自動的に電源をオフにします。
(電源がオフになるまでの時間は、0～180分の範囲内で1分単位で設定できます。)
ビープをONにすると、電源オフの１分前に警告音が鳴ります。
✲ を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押して時間を調節します。
✲ を押すと、ビープの ON/ OFFを設定できます。
ビープ ON: 電源オフ1分前に警告音を鳴らします。
ビープ OFF: 電源オフ前に警告音を鳴らしません。
- いったん電源がオフになると、スリープタイマーが0にリセットされます。

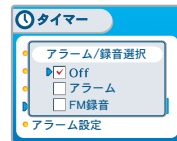
停止時電源Off

停止状態のときに電源が自動的にオフになります。
(時間範囲は1から60分まで1分ごとに設定できます。)
✲ を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押して時間を調節します。

時間設定（現時刻の設定）

現在時刻を設定します。
✲ を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押して項目を選択し、 ＋ 方向／ – 方向に押して値を設定します。

- 日付け入力すると曜日は自動的に設定されます。

アラーム/録音選択

OFF：アラーム機能およびFM録音機能が無効になり、それぞれで指定した時刻になってもプレーヤーの電源はオンになりません。
アラーム：[アラーム設定]で指定された時間にプレーヤーの電源がオンになり、音楽の再生が開始されます。
FM録音：[FM録音予約]設定(5-21ページ参照)で指定された時刻に、プレーヤーの電源がオンになり、選択した放送局の録音が開始されます。

✲ を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向、 ＋ 方向／ – 方向に押して項目を選択します。

アラーム設定

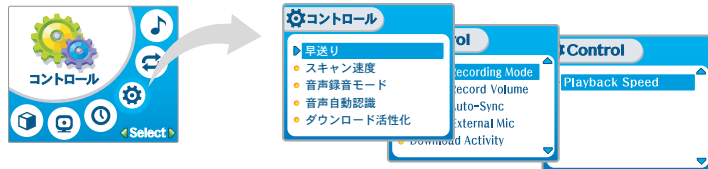
アラームの作動時刻を設定します。
✲ を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押して項目を選択し、 ＋ 方向／ – 方向に押して値を設定します。

SUN～SAT :設定した曜日の毎回同じ時刻にアラームが鳴ります。
ALL： 毎日、設定した時刻になるとアラームが鳴ります。

FM録音予約

録音する放送局と時刻を設定します。
を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押して項目を選択し、 ＋ 方向／ － 方向に押して値を設定します。

SUN～SAT :設定した曜日の毎回同じ時刻にチューナー録音が開始します。
ALL : 毎日、設定した時刻になるとチューナー録音が開始します。
End Time : 録音時間を10分から240分の範囲で設定することができます。

メインメニュー：コントロール

早送り（スキップ機能の設定）

を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押した時の動きの設定をします。

OFF : スキップが機能しません。
10 : 一度に10曲スキップします。
ディレクトリ : 前または次のフォルダにスキップします。

スキャン速度（早送り/巻戻し速度）

高速スキャンの速度を、1倍/2倍/4倍/6倍の中から選択できます。

音声録音モード

音声を録音するときの音声品質を調節します。

AGC ON :音声録音のレベルが自動的に制御されるため、遠く離れた場所からの録音の質が向上します。
AGC OFF : AGC (自動利得制御) を起動しない。
ビットレート : 8Kbps～160Kbps
サンプリング周波数 : 11.025KHz～44.1KHz

音声自動認識

音声録音モードは、無音状態になると自動的に一時停止します。これは、長時間にわたる録音の場合にメモリの節約になります。

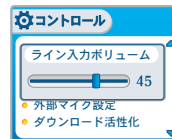
OFF :Voice Auto Detection(音声自動検出機能)が無効になります。
音声自動検出レベル : レコーダーを起動するのに必要なサウンドの相対レベルを設定します。(Level 1- Level 10)
録音一時停止時間の設定 :一時停止前の無音状態の録音秒数(1～10秒)。

FM録音モード

FMチューナーから録音するときの録音品質を調節します。

Mono : モノラルで録音
Stereo : ステレオで録音
ビットレート : 8Kbps～320Kbps
サンプリング周波数 : 11.025KHz～44.1KHz

ライン入力モード

外部機器から録音するときの録音品質を調節します。

ビットレート : 8Kbps～320Kbps
サンプリング周波数 : 11.025KHz～44.1KHz

ライン入力ボリューム

外部機器から録音するときの録音レベルを調節します。
(設定可能範囲は0～64です。)

ラインオートシンクロ

ライン入力 : CD上の各トラックごとに新しいファイルが自動的に作成されます。

- **OFF** : オーディオ信号検出機能が無効になります。
- **オーディオ信号検出時間（1～5秒）** : トラックの終了時点を判別したり新しいファイルを開始したりする際にプレーヤーが使用する無音状態の継続時間。

外部マイク設定

録音時に外部マイクかライン入力を選択できます。
ライン入力：ライン入力による録音
外部マイク：外部マイクによる録音

コントロール
外部マイク設定
ライン入力
外部マイク
ダウンロード活性化

Note
- 外部マイクで録音をするには、ライン入力録音モードを選択します。
- 録音品質レベルは、[ライン入力モード]で選択した値に設定されます。

ダウンロード活性化

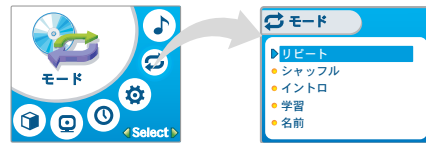
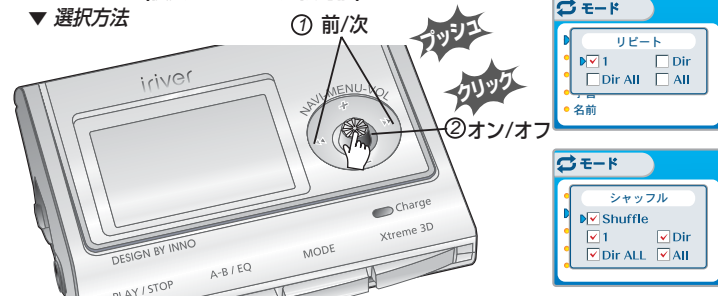
プレーヤーをPCに接続した時、プレーヤーを音楽再生に使用するか、ファイルの転送に使用するかを選択します。

OFF：プレーヤーはPCに接続されている状態でオーディオファイルを再生します(PCから電源供給されるので電池の節約になります)。
ON：プレーヤーが［USB CONNECTED］と画面に表示。プレーヤーへのファイル転送が可能です。

Note
- プレーヤーの電源をいったん切って、再度電源を入れると、[ダウンロード活性化］は、つねにONになり、ファイル転送ができる状態になります。

再生速度調節

再生速度を調節します。

FAST: 再生速度が速くなり、曲は通常より速く再生されます。
SLOW: 再生速度が遅くなり、曲は通常より遅く再生されます。
デフォルト値は0で、通常の速度で曲が再生されます。

便利な機能

メインメニュー：モード

リピート/シャッフル

音楽ファイルの再生中に ● を押すと、リピートやシャッフルなど、選択した再生モードがオンになります(複数のモードが選択可能)。

▼ *選択方法*

Note
- ● を押したときは、選択した再生モードだけが使用できます（詳細は5-5ページを参照してください）。

便利な機能

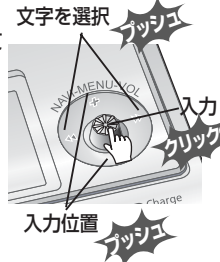
イントロ

On : 各曲の最初の10秒間を順番に再生します。

ハイライト : 各曲の中間（1分目）から10秒間を順番に再生します。

学習

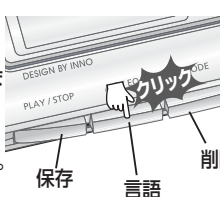
再生中 ❋ を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押した時に、どのくらいの時間分先に／前に進むかを設定します。

便利な機能

名前

プレーヤーの画面（停止状態の時）に、自分の名前やテキストを表示することができます。

- ❋ を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押して文字を選択し、 ❋ を押して文字を入力します。

文字を選択
プッシュ
入力
クリック
入力位置
プッシュ

モード
名前
iRiverMan
CDEFGHIJKLMNO

- 入力位置を移動するには、 ❋ を ＋ 方向／ － 方向に押します。

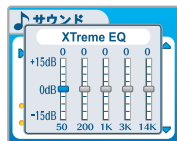
- 英数字とカタカナの入力を切り換えるには、 A-B を使用します。

モード
名前
iRiverMan:-)
!"#$%&'()*+,

- 文字を削除するには、 ● を押します。

- ▶/■ を押して、保存し、終了します。

注意 ●漢字の入力は[名前]機能ではサポートされていません。

便利な機能

メインメニュー：サウンド

Xtreme EQ

サウンドをお好みに応じて調節することができます。
5つの周波数帯域ステップがあり、それぞれ-15dBから+15dBまで3dB単位で設定します。

•Xtreme EQの設定方法

1. ❋ を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押して、設定する周波数ステップを選択します。
2. ❋ を ＋ 方向／ － 方向に押してレベルを調節します。
2. ❋ を押して、Xtreme EQ設定を終了します。

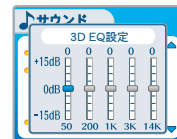
Xtreme 3D

3Dサウンドのレベル（Minimum、NaturalおよびMaximum）を調整できます。
Bass Boostまたは3D EQを選択して、3Dサウンドを拡張できます。

❋ を ◀◀ 方向／ ▶▶ 方向に押して3Dサウンドのレベルを調整することもできます。
❋ を押して[DBE]または[3D EQ]を選択します。

DBE設定

DBE(Dynamic Bass Enhancement)はXtreme 3Dの使用時に機能し、中低域の周波数を強調します。

Bass Center Bandレベル（帯域1～4）を選択できます。
また、Bass Boostゲインも、0～15dBの範囲内で3dB単位で設定できます。

3D EQ設定

3D EQを使用するには、EQを[User EQ]に設定します。
サウンドをお好みに応じて調整できます。
5つの周波数帯域ステップがあり、それぞれ-15dBから+15dBまで3dB単位で設定します。

●3D EQの設定方法はXtreme 3Dの場合と同様です。

バランス

サウンドは、お好みに応じて右、左、中央にバランスを取ることができます。[Sound Balance]バーを[L](左、20)に寄せると、サウンドがイヤフォンの左側から出力されます。[Sound Balance]バーを[R](右、20)に寄せると、サウンドがイヤフォンの右側から出力されます。
デフォルト設定は0で、サウンドがイヤフォンの両方から同じレベルで出力されます。

EQ制限

ON：イコライザ周波数の制御を制限して、音声の歪みを防止します。
OFF：オリジナルサウンドをお楽しみいただけますが、サウンドに歪みが生じることがあります。

EQ選択

各種EQモードを選択できます。
を ◀◀ ／ ▶▶ 方向、または ＋ ／ － 方向に押してEQを選択します。 を押して選択や解除をします。

注意
- [NORMAL EQ]は選択できません。
- [Xtrm EQ]モードおよび[Xtrm 3D]モードは、ここで選択しないと、再生時に値の変更だけでも使用できません。

ビープボリューム

警告音のボリュームを設定します。
消音にするには、[0]にします。

フェードイン

ON（オン）にしておくと再生開始時、ボリュームが徐々に大きくなり突然の大音量を防止します。

Memo

目次

トラブルシューティング

以下の症状をチェックした後も、問題が引き続き解決しない場合は、アイリバー・ジャパンサポートセンターまでご連絡ください。

症状	確認事項
電源がオンにならない	● プレーヤーの「HOLD」スイッチが「ON」になっていないかどうか確認してください(位置を「OFF」に切り替えます)。 ● バッテリが放電している可能性があります。PCとプレーヤーをUSBケーブルで接続してから充電してください。
音が聞こえない、または再生中に歪みが生じる	● ボリュームが[0]に設定されていないかどうか確認してください。 ● イヤフォンのプラグを確実に接続してください。 ● プラグが汚れていないかどうか確認してください。乾いた柔らかい布でプラグを拭いてください。 ● MP3ファイルまたはWMAファイルが破損していると、雑音が聞こえたり、音が途切れる場合があります。PCで問題のファイルを聞いて、破損していないかどうか確認してください。
LCDの文字が正しく表示されない	● [設定メニュー] → [一般] → [言語設定]で、正しい言語が選択されているかどうか確認してください(ページ5-15を参照)
FM受信の感度が悪い	● プレーヤーおよびイヤフォンの位置を調整してください。プレーヤーの近くにある電気機器の電源をオフにしてください。 イヤフォンコードはアンテナの役割を果たしているため、接続しないと最適な受信状態が得られません。
MP3ファイルのダウンロードに失敗した	バッテリが放電していないかどうかを確認し、必要に応じて充電してください。 コンピュータとプレーヤーが、確実にケーブル接続されているかどうか確認してください。 Managerプログラムが作動してかどうか確認してください。 プレーヤーのメモリが一杯でないかどうか確認してください。

注意

安全上の注意

● **プレーヤーを落としたり、衝撃を加えたりしないでください。**
プレーヤーは歩いたり走りながら使用することを前提に設計されていますが、落としたり、過大な衝撃を加えたりすると、破損する場合があります。

● **プレーヤーに水をかけないでください。**
水がかかると内部の部品が損傷する場合があります。
濡れた場合は、ただちに柔らかい布で表面を拭いてください。

● **プレーヤーを熱源の近くや、直射日光の当たる場所に放置しないでください。また、ほこり、砂、湿気、雨、および本体に対する衝撃量が極端に大きい場所や、凹凸のある場所のほか、窓を閉め切った車内に放置することも避けてください。**

● **プレーヤーを長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。**
電池を長期間プレーヤーの中に入れたままにしておくと、液漏れが発生し、部品に損傷を与える場合があります。

● **本製品に極端な衝撃が加わったり、落雷や停電が発生した場合、内部に格納されたデータがすべて消去される場合があります。**
極端な衝撃が加わったことや、落雷や停電によって生じた本製品の破損および内部の格納データなどの消失については、弊社では一切補償もせず責任も負いません。本製品に格納するデータの保護対策は、ご使用になる方が行ってください。

ヘッドホンおよびイヤフォンについて

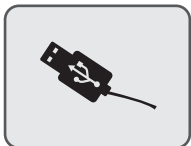
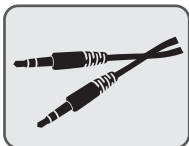
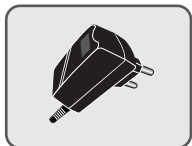
● **路上での安全確保について**
ヘッドホン/イヤフォンを使用しながら、車などを運転したり自転車に乗らないでください。
地域によっては違法となるばかりでなく、交通事故が発生する可能性があります。 大きい音量で再生しながら、横断歩道などを歩くことにも危険が伴います。
危険を伴う場所では、細心の注意を払うか、使用自体を止めてください。

● **聴覚障害を防止するには**
大きい音量でヘッドホン/イヤフォンを使用することは避けてください。聴覚の専門家からは、大きな音量での長時間の再生は避けるべきであるという意見が出されています。耳鳴りがしたら、音量を下げるか使用を止めてください。

● **公衆マナーについて**
音量は、ほどよいレベルに保ってください。それによって外部の音を聞き分けることができるだけではなく、周囲の人々への配慮ともなります。

付属品

1 イヤフォン/イヤフォンカバー

2 インストールCD

3 取扱説明書/保証カード/クイックスタートガイド

4 ACアダプタ

5 USBケーブル

6 オーディオケーブル

7 キャリーケース

8 アームバンド

9 ネックストラップ

仕様

メモリ	256MB	512MB	1GB
モデルNo.	iFP-990	iFP-995	iFP-999

※ メモリ増設不可

<table>
<tr><th>分 類</th><th>項 目</th><th colspan="3">仕 様</th></tr>
<tr><td rowspan="3">音声</td><td>周波数範囲</td><td colspan="3">20 Hz ~ 20 KHz</td></tr>
<tr><td>ヘッドホン出力</td><td colspan="3">(L) 18 mW + (R) 18 mW (16Ω)最大音量時</td></tr>
<tr><td>S/N比</td><td colspan="3">90 dB(MP3)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">FM チューナー</td><td>FM周波数範囲</td><td colspan="3">76.0 MHz ~ 108 MHz</td></tr>
<tr><td>S/N比</td><td colspan="3">60 dB</td></tr>
<tr><td>アンテナ</td><td colspan="3">ヘッドホン/イヤフォン兼用コードアンテナ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">対応 ファイル</td><td>ファイルタイプ</td><td colspan="3">MPEG 1/2/2.5 Layer 3、WMA、OGG、ASF</td></tr>
<tr><td>ビットレート</td><td colspan="3">8 Kbps ~ 320 Kbps
(OGG : 44.1KHz, 96Kbps から 225Kbps)</td></tr>
<tr><td>タグ情報</td><td colspan="3">ID3 VI、ID3 V2 2.0、ID3 V2 3.0、ID 3 V2 4.0</td></tr>
<tr><td colspan="2">LCD</td><td colspan="3">260,000色グラフィック LTPS (Low Temperature Poly Silicon) LCD、バックライト付き</td></tr>
<tr><td colspan="2">言語</td><td colspan="3">40言語</td></tr>
<tr><td colspan="2">音声録音</td><td>約18時間
(32kbps、256 MB)</td><td>約36時間
(32kbps、512 MB)</td><td>約72時間
(32kbps、1 GB)</td></tr>
<tr><td colspan="2">最長再生時間</td><td colspan="3">約40時間 (128 kbps、MP3、Volume : 20、EQ Normal、LCD off)</td></tr>
<tr><td colspan="2">USB</td><td colspan="3">USB 2.0 (フルスピード対応)</td></tr>
<tr><td colspan="2">寸法</td><td colspan="3">64(幅) x 51(高さ) x 20(奥行) mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">重量</td><td colspan="3">62g(電池含む)</td></tr>
<tr><td colspan="2">電池</td><td colspan="3">充電可能バッテリ</td></tr>
<tr><td colspan="2">動作温度</td><td colspan="3">-5℃ ~ 40℃</td></tr>
</table>

1. 保証書の記入事項

本製品のパッケージには、保証書が同梱されております。お買い上げの際は必ず販売店より[購入日]と[販売店印]欄などの記入をお受けください。
保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。また、保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください。

2. 修理をご依頼の前に

本取扱説明書のトラブルシューティング、ホームページのFAQをよくお読みいただき、それでも解決しない場合にはアイリバージャパン サポートセンターまでご相談ください。

アイリバージャパンサポートセンター

0120-266-551 E-mail: info@iriver.co.jp

受付時間：10:00〜19:00

ホームページアドレス　http://www.iriver.co.jp

〒101-0052　東京都千代田区神田小川町2-2 センタークレストビル2F

誠に恐れ入りますが、年末年始などのサポートセンター休業日にはお電話をお受けできない場合もございますのであらかじめご了承ください。また、サポートセンターの電話が通話中の場合、誠に恐れ入りますがしばらくたってからおかけ直しいただけますようお願い申し上げます。

<ご注意>

◎本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者およびほかの権利者の承諾を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。◎本製品でのご使用により生じたその他の機器やソフトの損害に対し、当社では一切の責任を負えませんのであらかじめご了承ください。◎本製品およびパソコンの不具合により音楽データが破損、または消去された場合のデータ内容の補償はご容赦ください。◎イヤフォン使用時には、周囲の音が聞こえにくくなりますので、自転車や自動車などの乗り物を運転するときや、道路を横断するときなどは絶対にお使いにならないでください。また、音量を上げすぎて、周囲の迷惑にならないようにご注意ください。◎本製品に関するお問い合わせ、サポート、およびカタログ掲載内容については国内限定とさせていただきます。◎記載の外観、および仕様は、改善等のため予告なく変更される場合があります。

<商標について>